



2003年6月8日(日)奥多摩の「むかし道」を歩きました。この道は、多摩川の奥多摩渓谷に沿って奥多摩駅(氷川)と小河内ダム(奥多摩湖)を結ぶ「旧青梅街道」です。また、大菩薩峠を越えて塩山、甲府へと通じる「甲州裏街道」でもあります。

一方、「今の道」は国道411号線。青梅から奥多摩湖を越えて、塩山で国道20号線にぶつかります。車で移動するには便利な「裏国道20号線」(かなり遠回りな気がします)かもしれませんが、歩くには...

そんな「むかし道」、奥多摩駅から奥多摩湖へ向かうのが一般的なようですが、楽しいことは「楽」しようよ!と、逆コースを選びます。奥多摩駅からバスで奥多摩湖へ移動して、奥多摩駅へ「むかし道」を歩いて戻るのはです。単純に標高差を考えるとひたすら下るはずなのですが、それは「今の道」のお話で、「むかし道」は、いきなり上り始めて、それが想像以上に長くて驚きました。そして、ところどころに現れる集落は、昔ながらの風情が残されています。子供の頃、夏休みに行った田舎のおばあちゃんの家が懐かしい気持ちになりました。どこにでも、“ありそうな”“なさそうな”「むかし道」です。



## お久しぶり！

6月8日(日)8時30分、JR八王子駅横浜線のホームに集合します。なんだか、ここに集まるのは久しぶりです。もっと久しぶりなのが、揖斐京子さんと鈴木しずかさんです。揖斐さんは、2001年7月の「城ヶ崎海岸WALK in IZU」以来、鈴木さんも、その年の8月「箱根旧街道」が最後でした。二人とも約2年の“久しぶり”なのですが、集まったメンバーは、みんな顔見知り。集まったのは、小野勝彦さん、宮部忠和さん、宮部香与子さん、河合稔さん、町田行弘の7名。

## 「むかし道」ハイカーでバスは満員

8時40分の八高線に乗って拝島で下車。青梅線に乗り換ええます。インターネットで調べた時刻表によると、八高線の拝島着が9時01分だったので、9時01分発の青梅線に乗ることはできないだろうと9時29分の電車に乗るつもりでした。ところが、どういうわけか9時01分の「ホリデー快速」奥多摩行きに乗車できました。奥多摩駅到着が9時48分。奥多摩湖へ向かうバスも予定より1本早い10時に間に合います。バスは、ほぼ満員の状態で出発し、途中での乗降はほとんどなく、15分後、終点の奥多摩湖の手前の「水根」で約半数の人が降りました。ここで降りたのはすべて「むかし道」を歩くのが目的の人々です。もちろん、私たちも。



## 下るだけのはずだった...

バス停には、「むかし道」入口への地図が立てられていて、確認して歩き出します。国道411号線を横断して、トンネルの手前を右に入る道があり、ここが、「むかし道」の入口です。それにしても、なんだか上り坂。舗装路の上り坂は、しばらく続き、なんだか騙されたような気分です(騙したのは誰?)。途中で奥多摩湖を見下ろせる場所があり、4年前の「御前山ハイキング」を思い出しました。確か、宮部さんは、その時が初参加でした。

HUM HUM ~ DEAIHA HUSHIGIDA ~

騙された“悪夢の20分”後、お寺の脇の道から未舗装の下り坂が始まりました。膝が完治していない揖斐さんは、慎重にゆっくり歩いています。もしかしたら上りの方が楽だったのかもしれませんが。急な下りが終わったところに古い民家がありました。住んでいるようないないような...?ここで、同じバスに乗っていた団体に追いつかれ、先に道を譲ります。



## 上下・東西南北、どこへ向かっているやら

新緑の中の小径は再び上り始めます。ほぼ登り切った場所から

奥多摩湖の堰堤が大きく正面に見えてきました。バスを降りた場所、最初に見た奥多摩湖、そしてこの地点、さらに上下の関係を考えると、いったいどういう風に歩いているのか?どこへ向かっているのか?不思議な感じがしてきます。しばらく進むと民家が現れ(今度は頭かに住んでいる集落)その脇を通り抜けます。さらに杉林の中を下ります。そして、再び低木の緑の中を少し上ったところに小さな広場がありました。建物の基礎の跡が残っています。昔、何かが建っていたようですが何だったのでしょうか?時刻は11時20分、小野さんは空腹を訴えます。「ここでお弁当にしますか?」数年前にこの道を歩いたことのある宮部さんが「もう少し行くと、吊橋がありますからそのほうがいいでしょう」と提案。そうすることにします。





## いちごにまつわるエトセトラ

5分ほど下ると舗装路に出ました。舗装路と言っても車道という感じはなく、車もほとんど通りません。たまにすれ違う車は、このあたりで生活している人のようです。さらに、足元を気にすることもないので、視界が広がります。お腹が空いている小野さんが見つけたのは野生のいちご。少しでも腹のたしにと、手当たり次第(?)口に入れていきます(?)。ここまでも、野生のいちごは所々でみられましたが、“毒があるんじゃないか”思ったりして手がでなかったのですが、吊橋へ向かう道すがら、野生のいちごの食べ比べです。どうやら2種類あるようで、ひとつは食べられるいちごで甘くておいしい。もうひとつは、酸っぱいだけでおいしくないのが「へびいちご」ということになりました。

よくきのご狩りで食中毒をおこしたなどということは耳にしますが、ハイカーが野生のいちごを口にして食中毒をおこしたとか、まして死んだなんて聞いたことがありません。実際、調べてみたところ、日本の野生のいちごに毒性のものはないということ。「へびいちご」もおいしくないだけでなんの害もないそうです。まして、へびが食べるわけでもないとのこと。



## 吊橋の定員は5名

ようやく吊橋を発見したのですが、ここは「道所吊橋」で休憩には不向き。宮部さんの言う吊橋はもう少し先の「シダクラ吊橋」でした。時刻は11時45分、まだ正午前、次の吊橋を目指すことにします。途中、「馬の水飲み場」の立て札がありました。それによると、昔はここで馬を休ませ、馬方も茶屋で休憩したそうです。茶屋は3軒あり、うどん、駄菓子、まんじゅう、たばこ、酒が売られていました。その名残なのでしょうが、この付近には、昔懐かしい民家が数軒残り、今も生活していました。

ちょうど12時、「シダクラ吊橋」に到着します。“一度に5人以上で渡らないで下さい”という注意書きがあり、歩くとけっこう揺れ、下の川からの高さも十分にスリルがあります。橋を渡るとちょっとした広場があり、木陰になっていて、休憩に向いています。もちろん、先客がお弁当をひろげていましたが、スペースは十分あります。ここで昼食休憩にします。左を下ると河原に出ることができるようでしたが、吊橋から見た川までの距離を考え、それはやめました。





## 何かを語る貨物線跡

12時30分、食事休憩を終え、出発します。再び吊橋を渡り、元の道を歩きます。5分ほどで、左に「成田不動尊」、右にトイレがあります。さらに10分ほど行くと「白髭神社」。ここは、神宿る聖地とした大岩の側面に建立されました。この大岩は、秩父古生層のうち石灰岩層で、層脈は、多摩川の対岸へも伸びているということでしたが、神社への長い階段を見て、パス。

神社を過ぎてしばらくすると、集落に入りました。ここでは、左上方に貨物線の高架橋跡がいい感じで残されています。貨物線は、小河内ダム（奥多摩湖）の建設に使われたものです。小河内ダムは、昭和13年に起工し、戦争による5年間の中断期間をはさみ、昭和32年に完成しました。今だったらすぐに取り壊してしまいそうな貨物線



跡が残されているもの「むかし道」らしい風情です。でも、もしかしたら、その風景から、当時ダム建設に反対して、湖底に沈んだ村人の心を感じてもらいたいのではないのでしょうか？

## いちごとシダと

青梅街道が近づくとそれを回避するように階段が現れて、「むかし道」を歩きます。そして“槐木”に着きます。ここでトイレ休憩をする間に小野さんは、実に立派ないちごを口に入れたのです。いくつか食べたようです。そして、うまかったようです。しかし、野生ではなさそうです。それなりに食べてから、小野さんは、いちごに対する不安か？うしろめたさか？所有者と思われる家を訪ねますが、留守だったのか、その隣の家を訪ねると、出てきてくれたのは、人の良さそうなおじさん。「あそこの立派ない



ちごは、食べられるんですか？」「ああ、隣の家が育てているんだ」話題はいちごの隣のシダに移り、揖斐さんが興味を示すと、「少し持って行けば？」「いいんですか？」「隣は親戚だから」てな具合に「むかし道」に住む人との交流を楽しみました。



## 温泉と生ビール・缶ビール

「むかし道」は、国道とも多摩川からも離れ、貨物線跡の脇の山道に替わります。所々に見え隠れする貨物線のレールを見下ろしつつ15分ほどで「むかし道」は終了しました。奥多摩駅側の入口に着いたのです。そこには最近できたと思われる立派





な案内図があり、ここまでの道を確認しました。  
 今回は、奥多摩駅近くの「もえぎの湯」でさっぱりしてから帰ることにしました。ところが、「もえぎの湯」はとても混んでいて、女性はすぐに入れたのですが、男性は整理券が配られて入場待ちです。それでも約15分後に入場でき、女性陣より先に上がり、生ビールで乾杯します。外に出て、しばらくすると女性陣が出てきました。「生ビール？いいわねえ」今さら中に戻るわけにもいけないので、奥多摩駅で。駅に着くとタイミングがよすぎて、缶ビールなんて買っている暇は無さそうだったので、（ここは執念？）なぜか、間に合い、電車の一両を占領して、缶ビールで乾杯！！



町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
鈴木しずか	228-0812	神奈川県相模原市相南 2-6-17 042-701-1653
揖斐京子	192-0372	東京都八王子市下柚木 3-3-5-704 0426-79-3894
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
宮部香与子	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
河合稔	194-0000	東京都町田市下小山町 2979-2 042-797-1611

